

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立中津高等学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年1月31日(月)～2月18日(金)
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会 長	田島 雅子	中津川市教育委員
副会長	糸魚川 謙一	元全日制PTA会長
委 員	楯 明夫	中津川市立第二中学校校長
	西尾 晃司	定時制同窓会長
	深津 広樹	中津川市役所 定住推進部市民協働課 次長兼課長
	古井 淳子	全日制PTA副会長
	松下 嘉広	一般財団法人ヒガシミノ団地代表理事
	水野 賢一	同窓会長・中津川市議会議員
	宮良 淳子	中京学院大学教授
	吉村あづさ	図書館ボランティア養成コーディネーター
学 校 側	森井 静子	校長
	今井 雅人	副校長
	谷口 典子	事務部長
	渡邊 卓哉	教頭

5 本校への提言

【全日制】

(教務部の取組について)

意見1：新カリキュラムと観点別評価を概ね完成させたこと、「中津高だより」の内容の充実等を高く評価されている。次年度に向けての改善方策案にあるとおり取組を進めてほしい。

意見2：来年度に向けての改善方策案にあるように、生徒が主体的、意欲的に取り組むよう、「わかる授業」の継続、魅力ある授業を目指してほしい。

意見3：生徒の活躍が、よく伝わってきた。教職員の生徒たちへの愛情を強く感じた。

意見4：ホームページは見やすくよい。

意見5：家庭学習、自主学習について十分ではないといった意見があるようだが、オンライン授業が増える中、生徒間で学習をやるかやらないかの差が出ていると思われる。だが、教職員は生徒たちへの課題や質・量をよく検討され、粘り強く働きかけられている。生徒一人一人の個性や学力に対し、柔軟に指導されていると思われます。教職員の奮闘が保護者に十分に伝わっていないのではないか。

意見6：中津高日より等、情報発信は適宜行われているが、まだ少ない。

意見7：家庭学習時間に縛られず、学習目標に対して何が自分に不足しているか、生徒と教員とのコミュニケーションの中で明確になるものであり、丁寧な意識付けと対策が必要である。

意見8：情報発信は大切なことではあるが、発信だけでなく誰がどれだけ、どのような方法で受け取ったかを把握し対処することが大事である。

(生徒支援部の取組について)

意見1：コロナ禍により思うような活動ができず評価は低くなっているが、アフターコロナを意識し、生徒が意欲を持って取り組める環境づくりを進めてほしい。

意見2：職員の日頃からの情報共有により、生徒に対して良好な支援につながられているようである。ぜひ今後も多様な生徒への支援体制を維持、強化されたい。

意見3：多くの生徒は気持ちのよい挨拶ができていると評価されている。挨拶をすることについて、生徒たちが考え、ごく自然な自主的な行動になるとよい。

意見4：コロナ禍における様々な活動に対し、どうすれば感染対策を取りながら実施出来るのか、生徒会を中心に相当考えたと思う。新しいカタチの旭陵祭が開催されたことに感激した。

意見5：キャリア教育や自己を正しく理解する力を養うには、多くの人とのコミュニケーションが必要と考えられるので、外部の方々の力を多く活用してほしい。

意見6：成年年齢引き下げに伴い、修学中に成年に達する生徒へ成年としての社会での役割、責任、法律等の教育を充実させてほしい。

(進路支援部の取組について)

意見1：総合的な探究の時間の取組は、地域とのつながりにも発展しており、地域としても大変感謝している。ぜひ今後も生徒がふるさとを知り、愛着を持ち、地域の方とつながる取組となるよう学習を充実させてほしい。

意見2：本校は生徒の進路支援はもちろん、中学校との連携も大切にしている。

意見3：「保護者のための進路サポート勉強会」を、今後も実施してほしい。職業観を育む活動については、企業説明会への参加も計画され（感染対策により実現せず）、また先輩社会人を招いた講話等が複数回開催され、進学先選択やその後を考えることのできる活動が増えた。希望の進路を一緒になって探し支えてくれる教職員が多く、生徒たちは安心している

意見4：中津川市には、多くの企業があり実践的ビジネス探究への取組も提案したい。

(学校運営全般について)

意見1：アンケートは参考資料としては大事だが、昨年より何%下がった、上がったを鵜呑みにしてしまうと方向性が変わってしまう

意見2：PTA活動についてももう少しホームページで取り上げてもらえるといい。一般の親は自分の子供が卒業するとホームページを観る機会・動機は減る。掲載用に改めて何かを作る必要はないので、PTAだよりが発行されたら掲載するだけでもよい。

意見3：学校評価アンケートだけでなく、本校生徒が接する地域住民に対するアンケートを依頼することが、地域住民と連携して生徒が成長していくためのキーポイントになるのではないかと。

【定時制】

(教育課程・学習指導について)

意見1：その学習が、なぜ必要なのか、どういう場面で効果があるから学ばなければならないのかを理解できるように導いてほしい。将来の目標を認識させ、達成する方法を生徒自身で探すことができるような指導をお願いしたい。

意見2：生徒の置かれている境遇や、これまでの育ちを受入れ、教育目標である「人間尊重の精神」「調和のとれた人間性豊かな生徒」の育成を願っている。

意見3：生徒数も少なく、個々の生徒の学力に応じた学習指導を、職員間で情報共有しながら、工夫されている。

意見4：保護者・生徒との信頼関係を基盤に、学習の学び直しの機会が提供されており、定時制高校の役割をしっかりと担われている。

(生徒指導、特別活動、保護者・地域との連携について)

意見1：短いスパンで達成できるような現実味のある目標を設定させ、やり遂げる喜び、折れない心を養ってほしい。

意見2：昨年度の卒業生の保護者から「中学では登校できないことが多く心配していたが、4年間登校し卒業できたし、進路も決まった。いつも先生方の励ましや支えがあり本当に嬉しかったし感謝している。家族だけでは乗り切れなかったと思う」という声が聞かれた。教員は生徒一人一人をよく理解し、支援している。

意見3：コロナ禍の影響により、諸行事が中止、変更されているが、1～4年生のコミュニケーションの場の減少、団体生活での主体性発揮、協力・協同など行事を通して、経験する機会が少なくなっていることが心配です。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会は、書面開催となったが、成果と課題について全委員より具体的な評価と助言を得ることができた。成果を今後の本校の魅力化・活性化につなげていけるようにしたい。

本校の取組について、あらためて全教職員が共通認識を持ちその魅力を地域に広く発信していきたい。中津高校として魅力を増やし、将来的に更に発展できる学校づくりのため、継続的に支援、協力をいただけるようにしたい。今後も生徒に軸足を置いた学校運営に取り組み、地域との連携を大切にされた教育活動を推進したい。